



町長回誌 No.129

町長日誌の第129号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

7月15日(火)PM5:30 12日(土)に33回目となる「インターナショナルオホーツクサイクリング」が開催されました。この大会は33年前、当時の網走支庁長の提案から管内市町村が連携したイベントとしてスタートしました。1年目は、470名と小規模でしたが、7回目の大会では2194人の参加で宿泊場所の確保に困ったそうです。最初は、自転車もいわゆるママチャリでの参加が多く、職場ごとのチーム参加も多かったようです。ところで、この第1回大会が行われた昭和57年の8月には北見市に東急デパートがオープンし興部高校からも多くの女子高生が就職しました。実は私の妹もその一人で、このサイクリングには東急デパートからも妹をはじめ多くの社員が参加したものです。しかし、年々参加者数が減り1千名を割るようになり、数年前から網走出発の日帰りコースを設けて何とか800名ほどの参加者を確保している状況です。興部町からの参加者も私が挑戦したころから一桁台で今年も7人でありました。市町村が連携してオホーツクを盛り上げようと言う声は良く聞かれますが、実際にはこのサイクリング以外には例がありません。一次停滞していました北海道観光が昨年からまた盛り返してきました。しかし、海外、特に東南アジアからの観光客は増えていますが、国内の観光客は減少傾向です。芝桜やチューリップなどの花観光が終わり、夏祭り前のこの時期に管内をつなぐイベントとして、もう一度新たな視点や付加価値をつけた行事には？ と思いました。

6月20日(金)

お隣の西興部村が交通死亡事故ゼロ7千日を達成されましたので、少々霞んでいますが興部も本日、死亡事故ゼロ2500日を達成しました！平成19年8月16日に枝幸町の若者が単独事故で興部橋に激突死したのが最後で、それから約7年間死亡事故が無かった事になります。しかし、今年に入ってからドクターヘリを呼ぶ大事故も数回発生しており、死亡事故になっても不思議でないケースも見受けられます。今年は事故が多発していますので、皆で気を付けましょう！

6月25日(水)

紋別市を代表に西紋5市町村の首長・議長で、道や国への要請活動を行う期成会については以前何度かお話したと思いますが、今年も23日～27日の日程で行ってまいりました。今日は、東京の汐留にある全日空(ANA)の本社に羽田一紋別線の「通年運航」の要請です。全日空役員から開口一番「今年を通年で直行便を運航します！」と言う言葉がありました。しかし、喜んでばかりはいられません。「1年に6万人の搭乗者」が今度の新たな条件です。25年度は自治体の支援もあり、かなり乗客は増えましたが6万人となると約1ヶ月分の搭乗者を増やす必要があり、かなり厳しい条件ですが、来年も直行便を続けるための更なる対策が必要となります。

7月10日(木)

北見に出張の車中に本町竜川裕一さん死去の知らせが入りました。皆さんご存知の様に竜川さんのお店「特一番」でおいしいラーメン作り続け興部の名を有名にしてくださいました。65歳で35年間営業し続けた店を閉める時は、多くのファンが町外から駆け付け閉店を惜しんだものです。よく「特産品」と言う言葉を私たちは使いますが、特一番は正に興部の特産品でした。竜川さんの人柄と技から生まれるラーメンは絶品でした。「もう一度、食べたかったなあ！」と言う人はきっと多いと思います。謹んで竜川さんのご冥福をお祈りします。

農家の一番牧草収穫作業もスタートが遅れた割には順調に進み収穫量も多かったようで一安心です。一方、海の方は海水温が低いのか昆布が数はあるのですが肉うすのペラペラ状態で、ウニ漁もこの薄い昆布が邪魔してウニが見えないと漁師さんはこぼしていました。海水温が低くオホーツク海に高気圧が長期間居座っていたため最近まで気温の低い日が続いたと思われます。しかし、昨日あたりからやっと暑い日が戻って来たようです。間もなく学校も夏休みが始まります。今年の「おこっぺ夏まつり」の花火には株式会社「ニトリ」提供の豪華な打ち上げ花火があります。皆さんで短いオホーツクの夏を楽しみましょう！では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。